

ネットワークカメラ

設置説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。
必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性を充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この設置説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この設置説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

**SNC-DH120/DH120T/DH220/DH220T
SNC-EM520/EM521/ZM550/ZM551**

IPELA HYBRID
sloc™ Exmor™ HD

© 2010 Sony Corporation Printed in China



お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1
<http://www.sony.co.jp/>

はじめに

この設置説明書では数種類のネットワークカメラの取り扱いかたを示しています。SNC-DH120/DH220/DH120T/DH220TはPoE方式のHDモデル、SNC-EM520/EM521はPoE方式のSDモデル、SNC-ZM550/ZM551はIPELA HYBRIDカメラのHDモデルです。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る。
- 故障したり破損したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する。

警告表示の意味

この設置説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

△注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。



△警告 下記の注意を守らないと、火災や感電、落下により死亡や大けがにつながることがあります。

設置や配線工事のときに屋内配線や屋内配管を傷つけないよう気をつける

特に壁に穴を開けたり、電源コードやケーブルを固定したりするときは充分に気をつけてください。屋内配線や屋内配管の傷は、火災や感電、漏電の原因となります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

設置説明書に記されている電源コードや、接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による感電、発火の原因となることがあります。

水ぬれ禁止

指定された電源電圧で使用する

指定されたものと異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

壁面や天井など高所への設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けください。充分な強度がないと、落下して大けがの原因となります。

また、1年に一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて、点検の間隔を短くしてください。

製品の設置は充分な強度のある場所に取り付ける

强度の不充分な場所に設置すると、落下、転倒などにより、けがの原因となります。

機器や部品の取り付けは正しく行う

機器や部品の取り付け方や、本機の分離・合体の方法を誤ると、本機や部品が落として、けがの原因となることがあります。

設置説明書に記載されている方法に従って、確実に行ってください。

雨のある場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所やこの設置説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルを傷つけない

- 禁止**
- 電源コードや接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。
 - 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
 - 電源コードに重いものを載せたり、引っ張ったりしない。
 - 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

不安定な場所に設置しない

- 禁止**
- 次のような場所に設置すると、倒れたり落ちたりして、故障やけがの原因になることがあります。
 - ぐらついた台の上
 - 傾いたところ
 - 振動や衝撃のかかるところ
 - また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

電源コードやケーブルを窓やドアにはさみ込まない

- ！指示**
- コードやケーブルが傷つくと、ショートによる火災や感電の原因となります。

△注意 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

分解や改造をしない

- 禁止**
- 分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
 - 内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご依頼ください。

直射日光に当たる場所、熱器具の近くには置かない

- 禁止**
- 変形したり、故障したりするだけでなく、レンズの特性により火災の原因となることがあります。特に、窓際に置くときはご注意ください。

ぬれた手で電源プラグや接続ケーブルをさわらない

- 禁止**
- ぬれた手で電源プラグや接続ケーブルを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。
 - ぬれ手禁止

内部に水や異物を入れない

- 禁止**
- 水や異物が入ると、火災の原因となります。
 - 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機が接続されている電源供給機の電源コードや本機の接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

指定した給電装置を使用する

- ！指示**
- PoE方式のネットワークカメラの電源供給は、IEEE802.3afに準拠した装置を使用してください。指定の装置を使用しないと、火災や感電、けがなどの原因となることがあります。

接続の際は電源を切る

- ！指示**
- 電源を入れたままで電源コードや接続ケーブルを接続すると、感電や故障の原因となることがあります。

移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く

- 指示**
- 接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。

所有事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

使用上の注意

ご使用の前に

- 開梱してから、結露がある場合には結露がなくなってきたら電源を入れてください。
- 設置作業の前やカメラまたは、カメラの内部に触れるときは静電除去を行ってください。

データ・セキュリティについて

- ネットワークカメラを使用することにより、インターネットを通じて容易にカメラ映像にアクセスすることができます。一方で第三者によりネットワークを通じてモニタリング画像および音声を閲覧、使用等される可能性があります。

ネットワークカメラの設置および利用については、被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

- ネットワークカメラへのアクセス権限は、ユーザー名およびパスワードを設定することにより行われます。それ以上のカメラによる認証作業は行われません。

諸事情による本ネットワークカメラに関連するサービスの停止、中断について

は、ソニーは一切の責任を負いません。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。

本機や記録メディア、外部のストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかるらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

・本製品の使用によりデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

個人情報について

・本機を使用したシステムで撮影された個人を識別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

・本製品を使用して記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本製品、または記録媒体が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いを充分に注意してください。

使用・保管場所について

非常に明るい被写体(照明や太陽など)を長時間にわたって撮影しないでください。また、次のような場所での使用および保管は避けてください。故障の原因となります。

- 極端に暑いところや寒いところ(使用温度は-10°C ~ +50°C)

・直射日光が長時間あたる場所や暖房器具の近く

・強い磁気を発するものの近く

・強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く

・強い振動や衝撃のあるところ

・湿気、ほこりの多いところ

・雨のあるところ

・蛍光灯や窓の反射の影響を受けるところ

・不安定な照明の下(フリッカーを起こします)

放熱について

動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がり、故障や事故の原因になります。

電源について

- 本機の電源は、ネットワークケーブルを通じて供給されます。(SNC-DH120/DH120T/DH220/DH220T/EM520/EM521)
- ネットワークケーブルは、UTP、カテゴリー5をご使用ください。
- ネットワークケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

輸送について

- 持ち運ぶときは、必ず電源を切ってから運んでください。
- 輸送するときは、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようしてください。

お手入れについて

- レンズの表面に付着したごみやほこりは、プロアーで払ってください。
- 外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取ったあと、からぶきしてください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると、表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

異常や不具合が起きたときは、お買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にお問い合わせください。

レーザービームについてのご注意

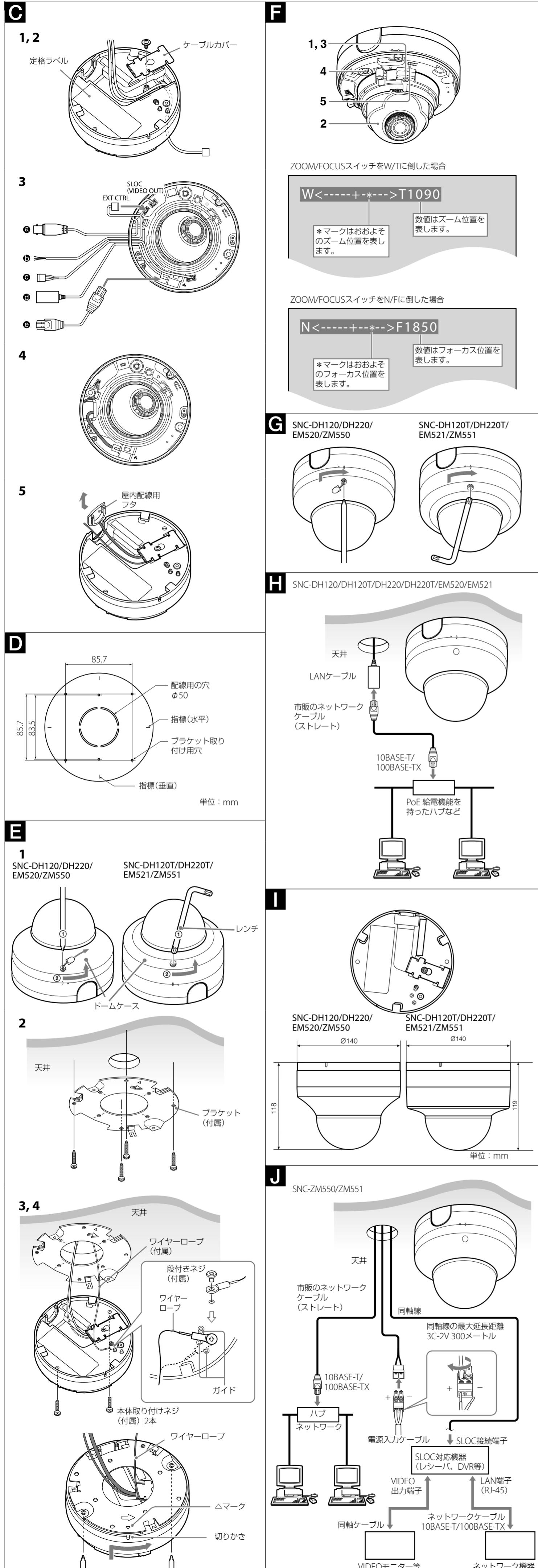
レーザービームは撮像素子に損害を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、撮像素子表面にレーザービームが照射されないよう十分注意してください。

② I/O (入出力)ケーブル(付属)

(SNC-DH120T/DH220T/EM521/ZM551)

1系統のセンサー入力、1系統のアラーム出力を備えています。

各ワイヤーは次の信号に対応しています。



準備

カメラにケーブルを接続する

設置の前に、ご使用環境に合わせ、必要な付属ケーブルをカメラに接続し、配線しておきます。

1 カメラ底面のケーブルカバーを取り付けネジをはずし、ケーブルカバーをはずす。

2 使用するケーブルをカメラ底面の穴から通す。

3 ケーブルを端子に接続する。

① BNCケーブル：SLOC端子に接続すみ(SNC-ZM550/ZM551)

② I/Oケーブル：EXT CTRL端子へ(SNC-DH120T/DH220T/EM521/ZM551)

③ 電源入力ケーブル：～AC/DC(電源入力)端子に接続すみ(SNC-ZM550/ZM551)

④ LANケーブル：LANポートに接続すみ(SNC-DH120/DH220/DH220T/EM520/EM521)

⑤ 市販のネットワークケーブル：LANポートへ(SNC-ZM550/ZM551)

4 ケーブルをカメラ本体のケーブルガイドに沿って配線する。ケーブル押さえのツメのあるところは、ケーブルをツメの内側に入れる。

ご注意

ケーブルがドームケースにはさまれないよう、必ずケーブルガイドとツメを使って配線してください。

5 天井面から軽くケーブルを引いてケーブルのたるみをなくし、ケーブルカバーをネジで固定する。

カメラを屋内に配線するときは、屋内配線用フタを取りはずしてケーブルを通してください。フタは外側に倒してから、引き抜いてください。

設置

△警告

・天井などの高所に設置する場合は、専門の工事業者に依頼してください。

・高所への設置は、設置のおよび使用する取り付け部材(付属品を除く)が、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることを確認の上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと落して大けがの原因となります。

・落下事故防止のため、付属のワイヤーロープは必ず取り付けてください。

・高所へ設置した場合は、1年に一度は取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

カメラの取り付け位置を決める

カメラの撮影方向を決めてから、付属のテンプレートを使って配線用の穴(Φ50 mm)をあけ、プラケット取り付け用穴(2か所または4か所)の位置を決めます。

取り付けネジについて

付属のプラケットにはΦ4.5 mmの穴があいています。このうち、2か所(ピッチ83.5 mm)または4か所(ピッチ85.7 mm)を使ってプラケットを天井や壁にネジ止めします。設置する場所や材質により、使用するネジ類が異なります。(ネジは付属していません。)

鋼材の場合：M4ネジとナットで固定してください。

木材の場合：タッピングネジ(呼び径4)で固定してください。板厚は15 mm以上必要です。

コンクリート壁の場合：ドライビット、またはプラグボルトで固定してください。

ジャンクションボックスの場合：ジャンクションボックスのネジ穴に合ったネジで固定してください。

△注意

取り付けネジは付属のネジをご使用ください。付属品以外のネジを使用した場合、本体内部を破損する恐れがあります。

カメラを取り付ける

1 ドームケースをはずす。

SNC-DH120/DH220/EM520/ZM550

① ネジカバーをはずして、プラスドライバーでネジをゆるめる。

② ドームケースを目印まで回してはずす。(ネジが引っかかるときは、ネジを上に持ち上げてください。)

SNC-DH120T/DH220T/EM521/ZM551

① 付属のレンチでネジをゆるめる。

② ドームケースを目指印まで回してはずす。(ネジが引っかかるときは、ネジを上に持ち上げてください。)

2 付属のプラケットを天井や壁に取り付ける。

使用するネジについては、「取り付けネジについて」をご覧ください。

3 付属のワイヤーロープをカメラと天井、または壁に取り付ける。

① 付属の段付きネジで、カメラ底面のワイヤーロープ取り付け穴にワイヤーロープを固定する。

ワイヤーロープは、ガイドの間を通して配線してください。

② ワイヤーロープを天井または壁に取り付ける。

4 カメラ本体をプラケットに取り付ける。

① 付属の本体取り付けネジ(2本)をカメラのネジ穴(2か所)に差し込む。

ネジには脱落防止機構があります。ネジをカメラのネジ穴に差し込んだ状態でカメラ本体を逆さにしても、ネジは落しません。

② カメラ本体の切りかきとプラケットの△マークを合わせる。

③ カメラをプラケットに押し当てながら矢印の方向に突き当てるまで回して仮固定する。

④ 付属の本体取り付けネジをしめる。

ご注意

・本体取り付けネジは付属のネジをご使用ください。

付属品以外のネジを使用した場合、正常な取り付けができず、落下するおそれがあります。

・天井や壁に取り付けネジを使えない場合や、カメラ本体を自立させたくない場合は、天井埋込み金具YT-ICB45、YT-ICB140(別売)をご使用ください。

天井埋込み金具でカメラを取り付けるときは、天井埋込み金具の左右金具の固定ネジを、**Ⓐ**の位置に固定してお使いください。

◆詳しくは、天井埋込み金具の取扱説明書をご覧ください。

撮影方向と撮影範囲の調整

1 カメララッド固定ネジをゆるめる。

2 カメラを調整して、撮影したい方向にレンズを向ける。

3 カメララッド固定ネジを締めてカメラを固定する。

4 ZOOM/FOCUSスイッチをW/Tに倒して画角を合わせる。

モニター画面にズームインジケーターが表示されます。

5 Easy Focusボタンを押して自動でピントを合わせる。

6 希望の撮影範囲とフォーカスが決まるまで、手順1～5を繰り返す。

ご注意

・カメラヘッド固定ネジをゆるめずにカメラヘッドの向きを調整すると、内部の部品が変形することがあります。

・カメラヘッドの切り欠き部にレンズが入っていないと、カメラヘッドの可変範囲が制限されます。

・カメラヘッドの動きが重く調整しにくい場合は、スムーズに動くまでカメラヘッド固定ネジをゆめください。

・角度調整をする場合は、カメラヘッド部に刻印されているTOPを天井側に設定してください。TOPの刻印を床側に設定すると、映像が逆さまになります。

・被写体の位置と撮影状況によって、Easy Focusボタンでピントが合わないときはZOOM/FOCUSスイッチをN/Fに倒してピントを合わせてください。モニター画面にフォーカスインジケーターが表示されます。

・ドームケースを取り付けることによって多少のボケが生じる場合があります。システムメニューでフォーカス調整を行ってください。

詳しくは、「ユーザーガイド」をご覧ください。

ご注意

レバースを360°以上回転させないでください。内部の配線が破断され、映像が出力されなくなるおそれがあります。

ドームケースを取り付ける

1 ドームケースとカメラ本体の目印を合わせてドームケースをはめ、矢印の方向に回す。

2 ネジを締め、SNC-DH120/DH220/EM520/ZM550のみネジカバーを取り付ける。

3 ドームカバーに付いている保護シートをはがす。

接続

ネットワークへの接続

SNC-DH120/DH120T/DH220/DH220T/EM520/EM521 **H**

市販のネットワークケーブル(ストレートケーブル)を使って、本機のLANコネクタとPoE(給電機能を持つ装置ハブなど)を接続します。

電源は、ネットワークケーブルを通して供給されます。詳しくは、PoE対応ハブなどの取扱説明書をご覧ください。

(PoE: Power over Ethernetの略。IEEE802.3afに準拠の機器。)

SNC-ZM550/ZM551 **J**

ネットワークへの接続は、同軸線または、LANを使用して接続します。

・ 同軸線を使用して接続

ネットワーク接続スイッチがSLOCに設定されているとき、同軸線を使用してネットワークに接続します。

同軸線の最大延長距離は、3C-2V 300m です。

△注意

・ 同軸線は同じ種別でも高周波特性が異なります。本機では、高周波特性的優れた同軸線を使用してください。

◆ 詳細は、接続するSLOC機器の取扱説明書を参照してください。また、ソニー業務用商品相談窓口にお問い合わせください。

・ 同軸線を使用して接続するときは、本機にネットワークケーブルを接続しないでください。

・ LANを使用して接続

ネットワーク接続切り替えスイッチがLANに設定されているとき、市販のネットワークケーブル(ストレートケーブル)を使って、本機のLANポートとネットワークのルーターまたはハブを接続します。

・ コンピューターへ接続するには

市販のネットワークケーブル(クロスケーブル)を使って、本機のLANポートとコンピューターのネットワークコネクタを接続します。

DC 12 VまたはAC 24 V電源への接続

SNC-ZM550/ZM551

本機の電源入力ケーブルをDC 12 VまたはAC 24 Vの電源供給装置へ接続します。

・ DC 12 VまたはAC 24 Vは、AC 100Vに對して絶縁された電源を使用してください。それぞれの電源の使用電圧範囲は次の通りです。

・ DC 12 V: 10.8 V ~ 13.2 V

・ AC 24 V: 21.6 V ~ 26.4 V

・ DC 12 VまたはAC 24 Vの配線には、ULケーブル(VW-1 style 10368)を使用してください。

推奨電源ケーブル

	DC 12 Vの場合	AC 24 Vの場合
ケーブル(AWG)	#26 #24 #22	#26 #24 #22
最大ケーブル長(m)	4 10 18	27 43 73

I/Oケーブルの接続

I/Oケーブルの各ワイヤーは、次のように配線してください。

センサー入力への配線図

センサーカルスイッチ/オープンコレクタ出力装置

